

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)

現在、当院新生児科で実施している研究へご協力をお願い

1. 研究課題名

当院 NICU 退院後に RSV 感染症による入院を要した症例の検討

2. 対象となる方

2020年1月～2024年7月に当院NICUに入院された患者さんのうち、退院後RSV感染症による入院加療を行った患者さん。

3. 研究の目的

RSウイルス(RSV)感染症は乳幼児の呼吸器感染で頻度が多いものですが、一部で重症化することがあり、重症化予防が大切です。これまで重症化ハイリスク症例にはパリビズマブの投与が行われていましたが、2024年に長期作用型のニルセビマブが使用可能となり、パリビズマブも別の疾患に適用拡大となりました。当院NICU退院後にRSVによる入院加療を要した症例を検討し、これまでの問題点と今後の対策を考察することが目的です。

4. 研究期間

2025年4月(倫理審査委員会承認後、舟入市民病院での倫理委員会の承認を経て開始となります)～2026年12月31日(予定)

5. 研究に使用する試料・情報の種類

診療情報等：週数、体重、基礎疾患、入院中に行った治療等。退院後RSV感染症で入院した患者さんの入院月齢、行った治療等。

6. 研究組織

当院と舟入市民病院での研究になります。

7. 研究責任者

広島市立広島市民病院 総合周産期母子医療センター 部長 木原裕貴

8. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院ならび舟入市民病院の倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

この研究に使用する情報は匿名化処理を行い、患者さんを特定できないようにしたうえで使用します。

また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院 総合周産期母子医療センター 木原 裕貴